

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔48〕 東京都台東区立今戸社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社			指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティセンター等（計29件46施設）					
(3)経営状況	売上総利益		販売費・一般管理費		営業利益（単位：百万円）	
	25年	61,887	49,624	12,263		
	26年	65,096	51,076	14,020		
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸2-26-12（今戸住宅2F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日					
(5)規模	ホール：50名（107㎡）和室：30名（66㎡） 第一会議室：30名（55㎡）第二会議室：40名（57㎡）					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	4 講座実施 延6回 参加人数 107人					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	15,595,000	15,888,000	19,230,000	19,100,000	19,769,000
	利用料金収入	1,160,000	1,300,000	1,000,000	1,040,000	1,090,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,755,000	17,188,000	20,230,000	20,140,000	20,859,000
決算	委託料	15,595,000	15,888,000	19,230,000	19,100,000	19,769,000
	利用料金収入	1,058,746	1,098,430	1,279,175	1,222,800	1,408,125
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,653,746	16,986,430	20,509,175	20,322,800	21,177,125
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	23年度	24年度	25年度	26年度
年間開館日数		日	343	339	340	342
自主事業等講座数		講座	19	17	14	14
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値（28年度）	24年度	25年度	26年度
利用率		%	33.0	32.0	30.5	32.0
利用人数		人	18,300	19,463	17,624	17,831

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み				
子育て中の方が参加しやすいよう託児付き講座『親子でエクササイズ～マット遊び・なわとび・ボール遊び～』を実施。若年世代向け講座『陶器のマグカップづくり』を実施。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の理解を深めるため、「オリンピック・パラリンピックから学ぶ人権」の講座を実施した。				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数等の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	生涯学習のきっかけ作りであるラーニングスクエアの受講後の継続活動として、有志の方々によるサークルの発足の相談に応じ、サークル発足が3団体あった。また、館独自のサークルフェスタを開催し、地域への認知度向上を図った。		
(2)施設の維持管理	A	点検等については、年度計画・月次工程に基づいて適切に実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の老朽箇所を洗い出し、速やかに防護策を講じるなど、利用者の安全に努めている。		
(3)利用者の満足度	A	講座によっては定員に満たない講座もあったが、出席者からは分かりやすかった、楽しく過ごせたなど、肯定的な意見が多かった。また、講座からサークルになった団体もあり、満足度は高かった。		
(4)収入支出	A	利用収入は前年度と比較して、増加した。また、照明の部分消灯及び裏紙印刷を励行し、節約に努めるなど、適切な予算執行に努めている。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		妥当	有志の方々によるサークルの発足の相談に細やかに応じた結果、サークルが3団体発足した。また、2020年東京大会を踏まえた講座の実施などを行い、適切な施設運営を行っている。	
11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応				
今後も若年世代の方が子育て中の方が参加しやすくなるようなテーマの講座を実施するとともに、館独自のサークルフェスタを地域に根付かせて、新しいサークルの発足を促し、利用率の向上に繋げていく。また、引き続き、2020年東京大会に向け、多様な言語や文化、オリンピック・パラリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。				